

鈴木亜由美

芯

指先のふるえるきざみ
こすり合わせる微かなひびき

握れない儂さ

瞳孔の遥かに 墨染の灯

火種

母として 女として 人として
脈々と受け継がれた清色の灯火
絶やすことなどできようか
凜々しい炎 植えつける